

2008年度 第3四半期 決算説明会

(2008年4月～12月)

富士フイルムホールディングス株式会社
2009年1月30日

注意 本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

2008年度第3四半期（9ヶ月）連結業績 FUJIFILM

第3四半期以降の急激な事業環境悪化と為替円高進行により、大幅減益

(単位:億円)

	2007年度 9ヶ月通算		2008年度 9ヶ月通算		増減	
	金額	%	金額	%	金額	%
売上高	100.0%	21,374	100.0%	19,042	-2,332	-10.9
営業利益*	8.3%	1,780	4.3%	825	-955	-53.6
税金等調整前 当期純利益	8.7%	1,855	3.0%	563	-1,292	-69.6
当期純利益	4.9%	1,039	1.5%	295	-744	-71.6
1株当たり当期純利益		203.80円		58.64円		-145.16円
為替:米ドル		117円		103円		-14円
ユーロ		163円		151円		-12円

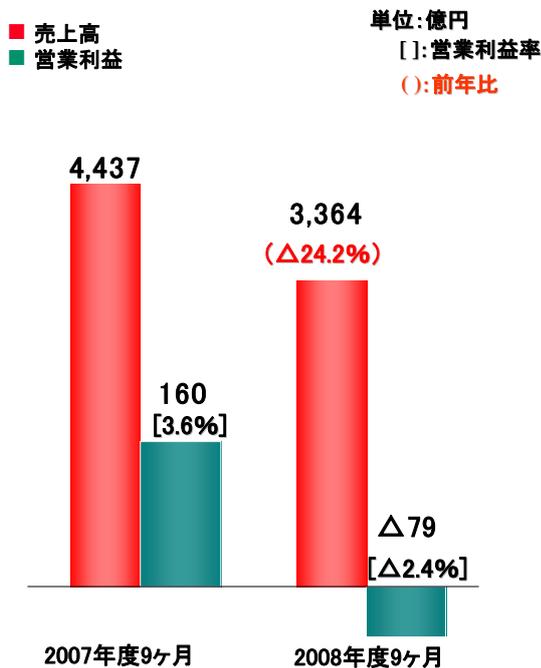
■ <参考> 営業利益増減要因(対07年度9ヶ月通算): (単位:億円)

為替影響 ▲210 原材料価格上昇 ▲125 販売増減他 ▲620

* 構造改革(含S&S)費用 07年度9ヶ月 97億円、08年度9ヶ月 70億円 を含む

■ イメージング ソリューション

売上高*・営業利益



売上高

3,364億円 (前年比 24.2%減)

- カラーフィルムの市場縮小に加え、単価下落が継続するデジタルカメラなど、主要製品全般で売上が減少。
- 為替円高影響 (△354億円)

営業利益

△79億円 (前年比 赤字化)

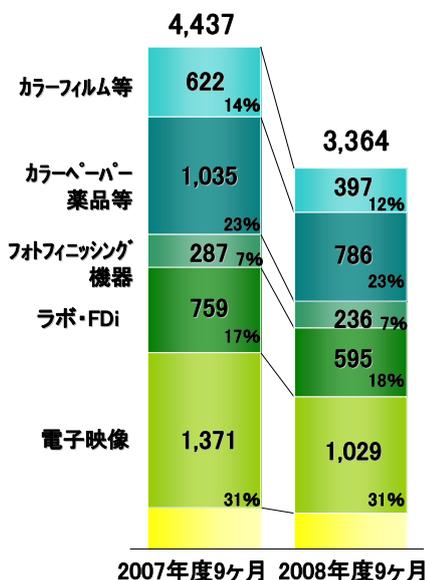
- カラーフィルムなどの売上減少による利益減に加え、デジタルカメラの単価下落や為替円高影響も収益を圧迫。

*セグメント間取引消去後

事業別セグメント情報（9ヶ月）

サブセグメント売上高

単位: 億円
%: 売上構成比



カラーフィルム等

397億円 (前年比: 36%減)

- 市場縮小による売上減少が継続。

カラーペーパー・薬品等

786億円 (前年比: 24%減)

- フォトブックなど付加価値プリントの販売促進施策を引き続き強化。

フォトフィニッシング機器

236億円 (前年比: 18%減)

- インクジェットドライミラボの販売は着実に増加。

電子映像

1,029億円 (前年比: 25%減)

- 9ヶ月累計でのデジタルカメラ販売台数は、ワールドワイドで670万台。景気悪化による需要低迷の影響を受けるが、販売数量は昨年度並みに推移。
- 大幅な単価下落の影響を受け、売上高は減少。

■ インフォメーション ソリューション

売上高*・営業利益

■ 売上高
■ 営業利益

単位：億円
[]：営業利益率
()：前年比

売上高

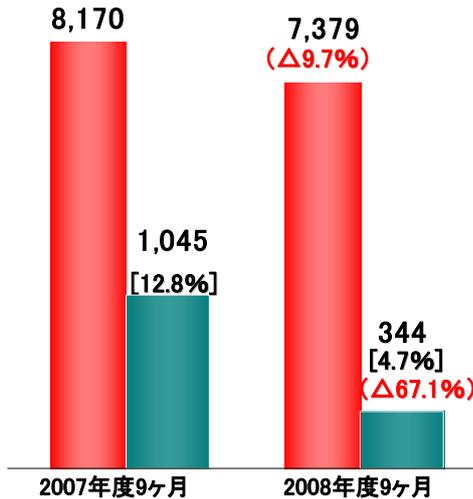
7,379億円（前年比 9.7%減）

- 液晶関連市場の急速な悪化の影響で、上期まで好調であったフラットパネルディスプレイ材料の販売が減少したことなどにより、減収。
- 為替円高影響（△454億円）

営業利益

344億円（前年比 67.1%減）

- 3Q以降の市況悪化に伴う主要製品の販売数量の減少に加え、為替円高の影響等により大幅減益。

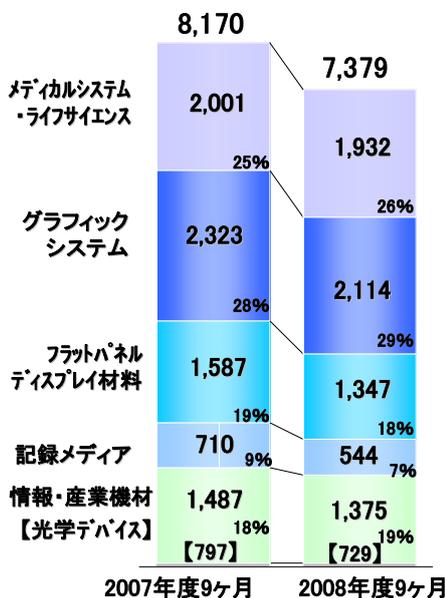


*セグメント間取引消去後

事業別セグメント情報（9ヶ月）

サブセグメント売上高

単位：億円
%：売上構成比



デジタルシステム・ライフサイエンス

1,932億円（前年比：3%減）

- 国内での診療報酬改定影響及び内視鏡製品の競争激化や米国での機器販売低迷などにより売上が減少。販売体制の強化等、拡販施策を推進中。
- 販売が拡大する医療ITシステム事業強化の為、中国天健社、米Empiric社を子会社化。
- 直接変換型FPD搭載デジタルマンモグラフィシステム「AMULET」、フルデジタル電子内視鏡システムの最上位シリーズ「Advancia」を国内で発売。

グラフィックシステム

2,114億円（前年比：9%減）

- 景気悪化の影響により印刷需要が減少し、印刷材料全般の売上が減少。
- 生産性を向上したワイドフォーマットインクジェット「Acuity advance」を欧米で発売。

フラットパネルディスプレイ材料

1,347億円（前年比：15%減）

- パネルメーカーの大幅な生産調整の影響により、売上が3Q以降に急落。

記録メディア

544億円（前年比：23%減）

- 主力のデータメディアの最大の市場である米国経済の悪化影響などにより販売が低迷。

情報・産業機材

1,375億円（前年比：8%減）

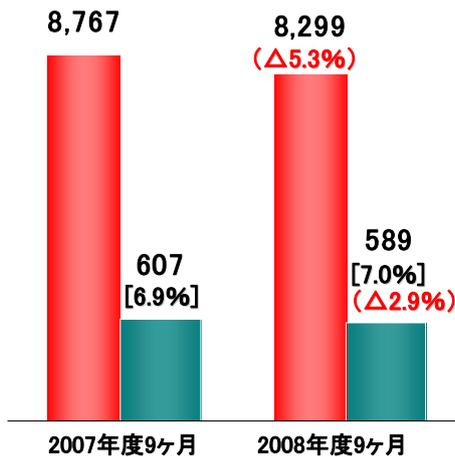
- 光学デバイス分野で、需要拡大が続いていたカメラ付き携帯電話用レンズユニットの受注が、11月以降減少。

■ドキュメント ソリューション

売上高*・営業利益

■ 売上高
■ 営業利益

単位: 億円
[]: 営業利益率
(): 前年比



売上高

8,299億円(前年比 5.3%減)

- 急速な事業環境の悪化による欧米向け輸出の減速と米ドル、アジア・オセアニア通貨の大幅な為替変動によるマイナスインパクトにより減少
- 為替円高影響 (△284億円)

営業利益

589億円(前年比 2.9%減)

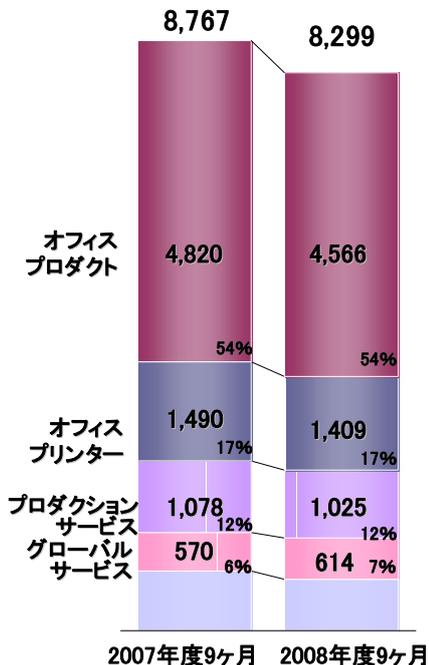
- 原価改善や販売費及び一般管理費の削減に取り組んだものの、売上総利益の減少を補いきれず減益

*セグメント間取引消去後

事業別セグメント情報（9ヶ月）

サブセグメント売上高

単位: 億円
%: 売上構成比



オフィスプロダクト

4,566億円 (前年比: 5%減)

- 国内ではLEDプリントヘッド搭載のフルカラーデジタル複合機や低価格のカラーデジタル複合機の販売が好調に推移。
- アジア・中国地域においては、急速な景気悪化と為替変動の影響により売上が低調に推移。

オフィスプリンター

1,409億円 (前年比: 5%減)

- 市場全体の需要低迷により自社ブランド商品、OEM向け商品ともに減少。
- 欧米向け輸出、アジア・中国地域ともにカラー機の出荷、販売台数が大幅に増加。

プロダクションサービス

1,025億円 (前年比: 5%減)

- 欧米向け輸出でライトプロダクション・カラーシステムの出荷台数が大幅に増加。
- アジア・中国地域においては、急速な景気悪化と為替変動の影響により売上が低調に推移。

グローバルサービス

614億円(前年比: 8%増)

- ドキュメントアウトソーシングビジネスが国内外ともに引き続き伸長。

業績の見通し

2008年度 通期業績予想修正

FUJIFILM

急激な事業環境の悪化を織り込み、通期業績予想を下方修正

(単位:億円)

	2008年度 修正予想		2008年度 10/30予想		対前回予想		2007年度 実績	
					金額	%		
売上高	100.0%	24,300	100.0%	28,500	-4,200	-14.7	100.0%	28,468
営業利益	1.2%	300	5.6%	1,600	-1,300	-81.3	7.3%	2,073
税金等調整前 当期純利益	0.0%	10	5.7%	1,630	-1,620	-99.4	7.0%	1,993
当期純利益	0.4%	100	2.8%	800	-700	-87.5	3.7%	1,044
1株当たり 当期純利益		20.47円		158.61円		-138.14円		205.43円
為替 :米ドル		100円		101円		-1円		115円
:ユーロ		142円		147円		-5円		162円

* 為替感応度(年間/対営業利益) US\$ 12億円 ユーロ 7億円

- 新たな成長に向けグループを挙げ構造改革を断行
 - グループ全体を対象に徹底的かつスピーディにスリム化を展開
 - 厳しい環境を生き抜き、環境好転時の上昇モメンタムに乗れる体制を確立

- 主要事業の来期見通し
 - FPD材料/カメラ付き携帯電話レンズ
 - ✓ 2008年度下期を底に、2009年度から徐々に回復へ
 - デジタルカメラ
 - ✓ 在庫削減、製造コストダウンにより2009年度に大幅損益改善を見込む
 - ドキュメント事業
 - ✓ 先進国需要回復時期は不透明も、新興国需要取り込み、国内業務革新プログラム推進で利益確保

2008年度 通期業績予想修正 (セグメント別)

(単位:億円)

	08年度通期 (修正予想)		08年度通期 (10/30公表)		08年度9ヶ月 (実績)		08年度4Q (修正予想)		07年度通期 (実績)	
イメージング 売上		4,100		4,600		3,364		736		5,471
営業利益	-7.3%	-300	-7.8%	-360	-2.4%	-79	-30.0%	-221	-0.4%	-24
インフォメーション 売上		9,400		11,800		7,379		2,021		11,081
営業利益	1.1%	100	8.9%	1,050	4.7%	344	-12.1%	-244	11.5%	1,274
ドキュメント 売上		10,800		12,100		8,299		2,501		11,916
営業利益	5.1%	550	7.9%	950	7.0%	589	-1.6%	-39	7.2%	867
<上記営業利益に含まれる 構造改革費用の合計>		-250		-400		-70		-180		-330
セグメント間取引消去等		-50		-40		-29		-21		-44
合計 売上		24,300		28,500		19,042		5,258		28,468
営業利益	1.2%	300	5.6%	1,600	4.3%	825	-10.0%	-525	7.3%	2,073
為替	米ドル	100円		101円		103円		90円		115円
	ユーロ	142円		147円		151円		115円		162円

2008年度第3四半期 連結業績

(単位:億円)

	2007年度 第3四半期		2008年度 第3四半期		増減	
					金額	%
売上高	100.0%	7,293	100.0%	5,657	-1,636	-22.4
営業利益*	9.5%	693	0.2%	13	-680	-98.2
税金等調整前 四半期純利益	9.7%	707	-4.5%	-254	-961	-
四半期純利益	5.4%	392	-2.8%	-159	-551	-
1株当たり 四半期純利益		77.39円		-31.99円		-109.38円
為替:米ドル		113円		97円		-16円
ユーロ		164円		128円		-36円

＜参考＞ 営業利益増減要因(対07年度3Q):

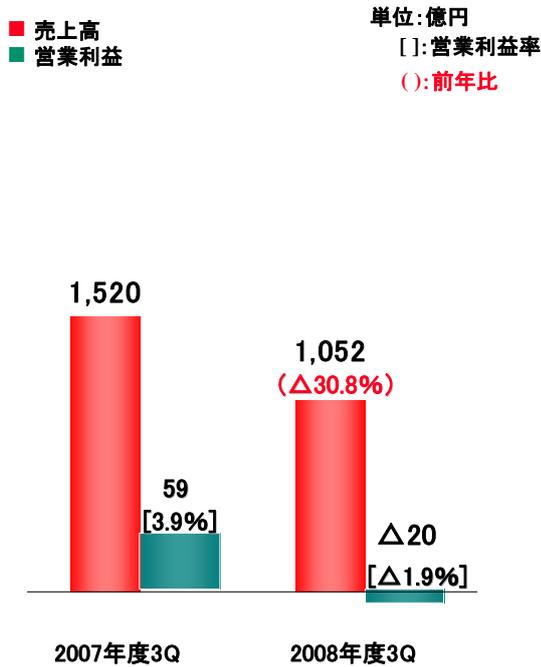
(単位:億円)

為替影響 ▲101 原材料価格上昇 ▲10 販売増減他 ▲570

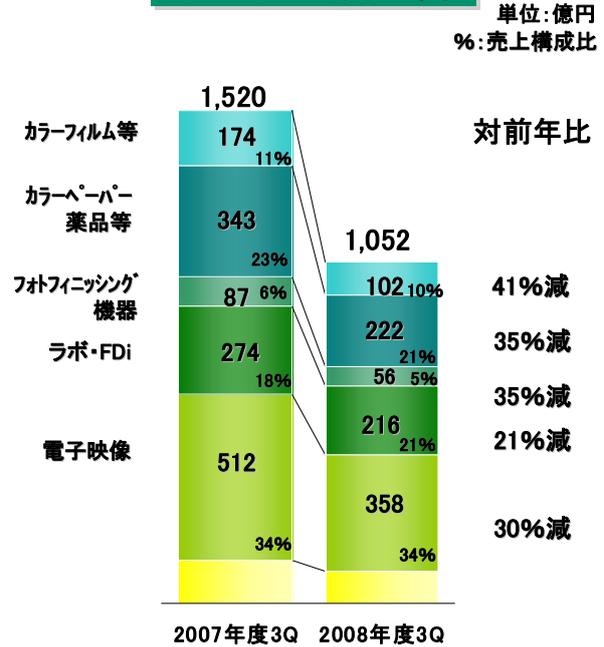
* 構造改革(含S&S)費用 07年度3Q 54億円、08年度3Q 29億円 を含む

■ イメージング ソリューション 第3四半期

売上高*・営業利益



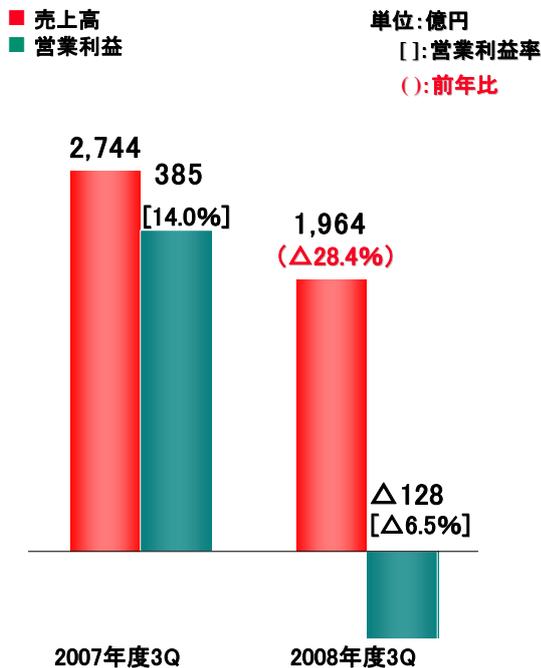
サブセグメント売上高



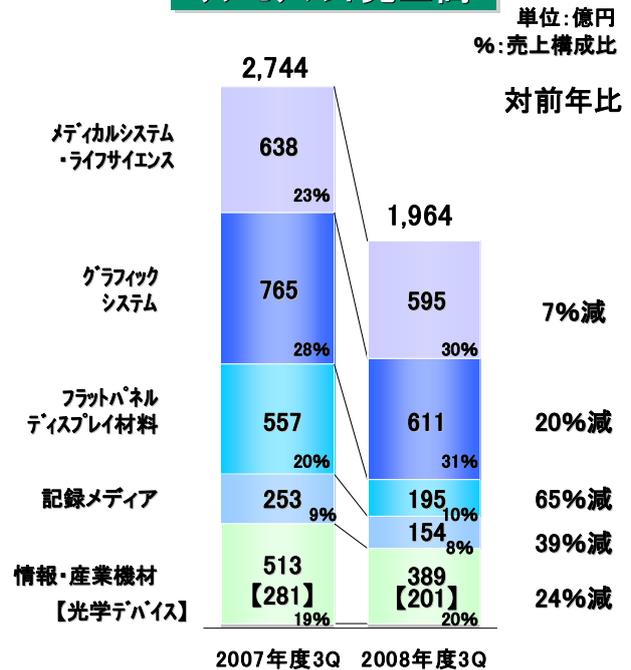
*セグメント間取引消去後

■ インフォメーション ソリューション 第3四半期

売上高*・営業利益



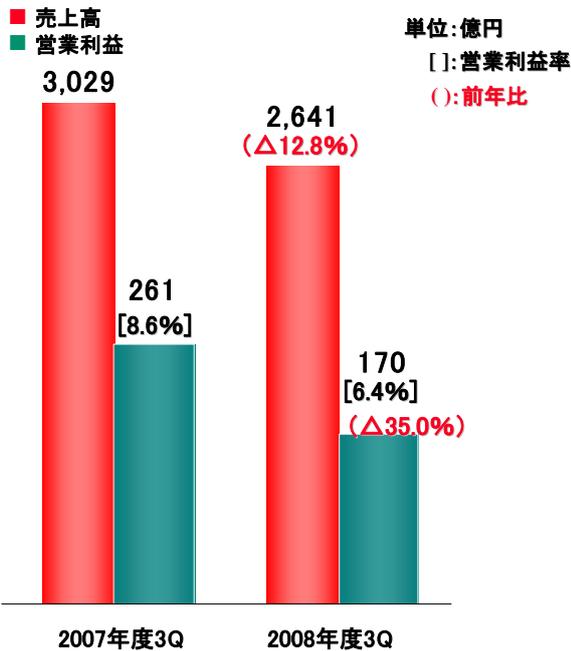
サブセグメント売上高



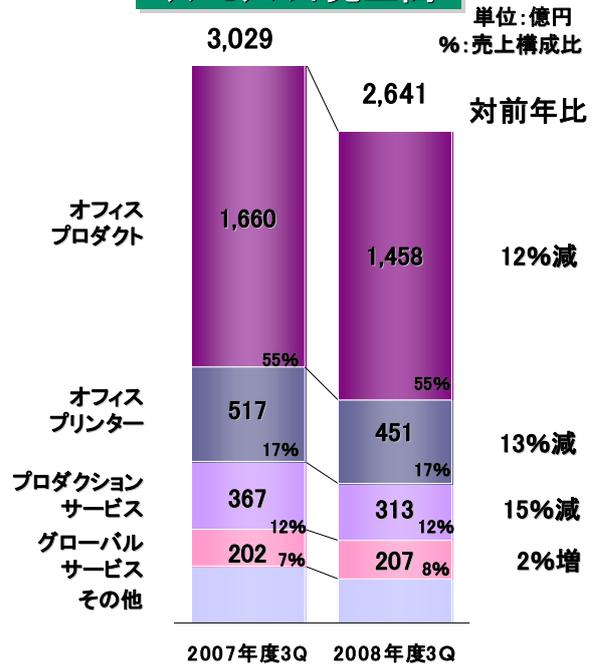
*セグメント間取引消去後

■ドキュメント ソリューション 第3四半期

売上高*・営業利益



サブセグメント売上高



*セグメント間取引消去後

参考データ

■ 2008年11月～12月にかけて更なる自己株式取得

合計	2007年度	2008年度
取得株式数(千株)	6,700	15,780
買付価額(億円)	341	350

2008年度第3Q末
自己株保有比率

5.1%

■ 自己株取得と配当を合わせた株主還元額は約520億円の見込み

配当額

2Q(実績) 17.50円

年間(予定) 35円

(配当額 + 自己株式取得額)

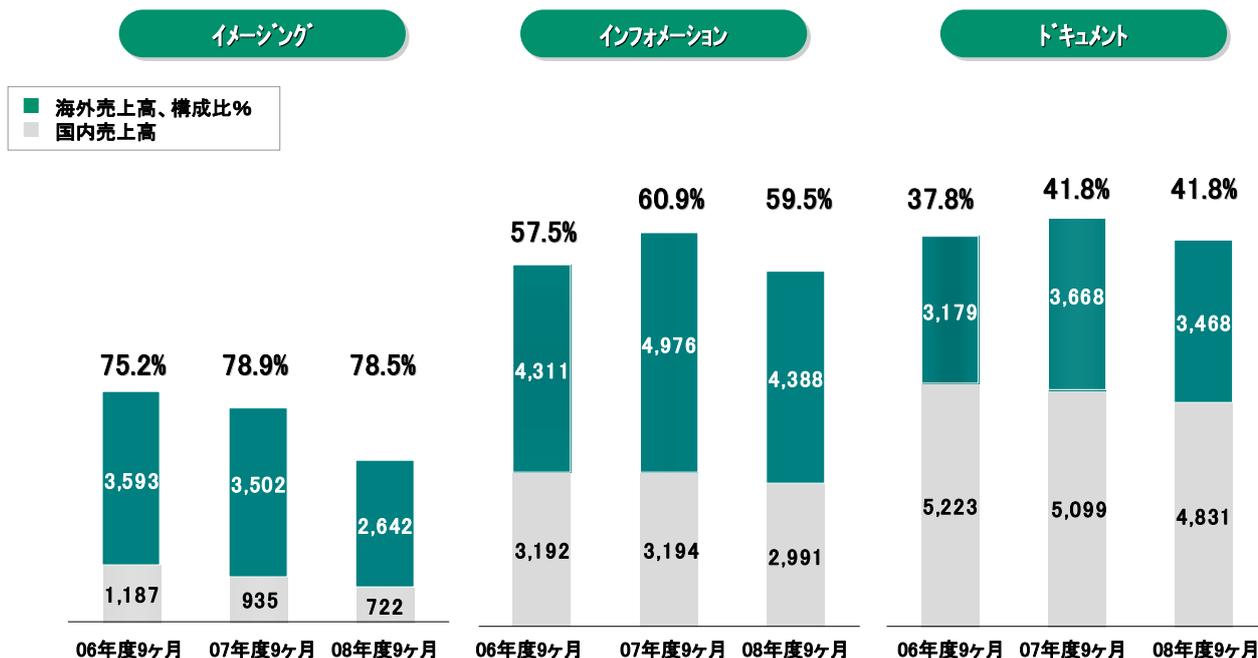
2008年度
株主還元額

約520億円

(見通し)

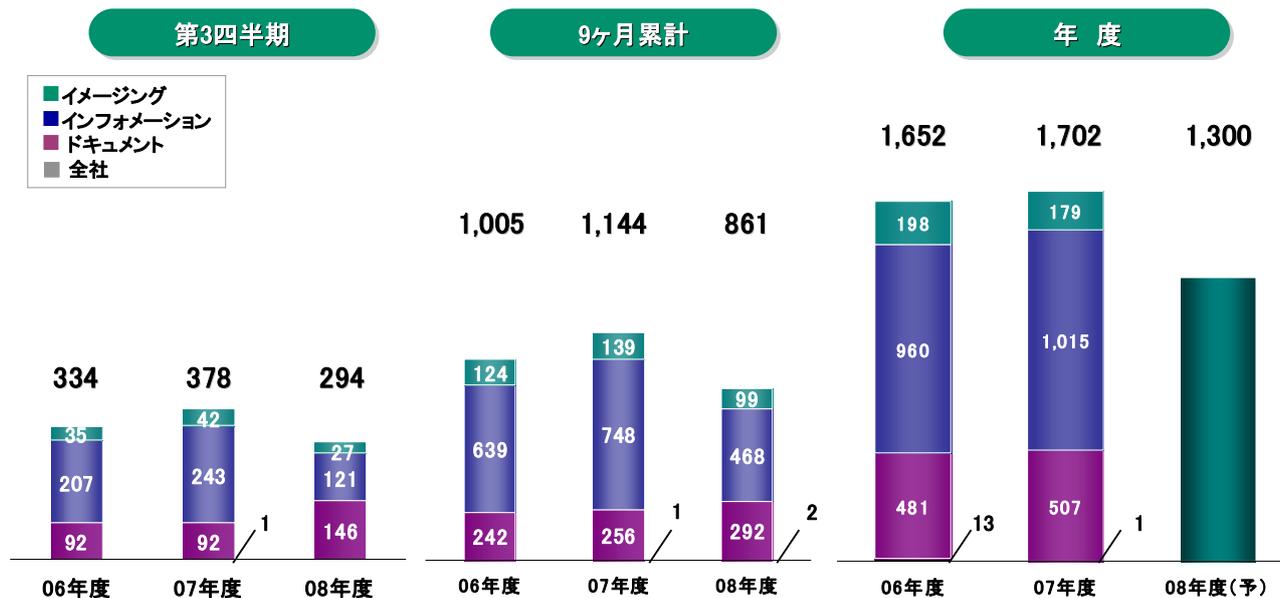
■ 海外売上高

(単位:億円)



■ 有形固定資産の設備投資額※

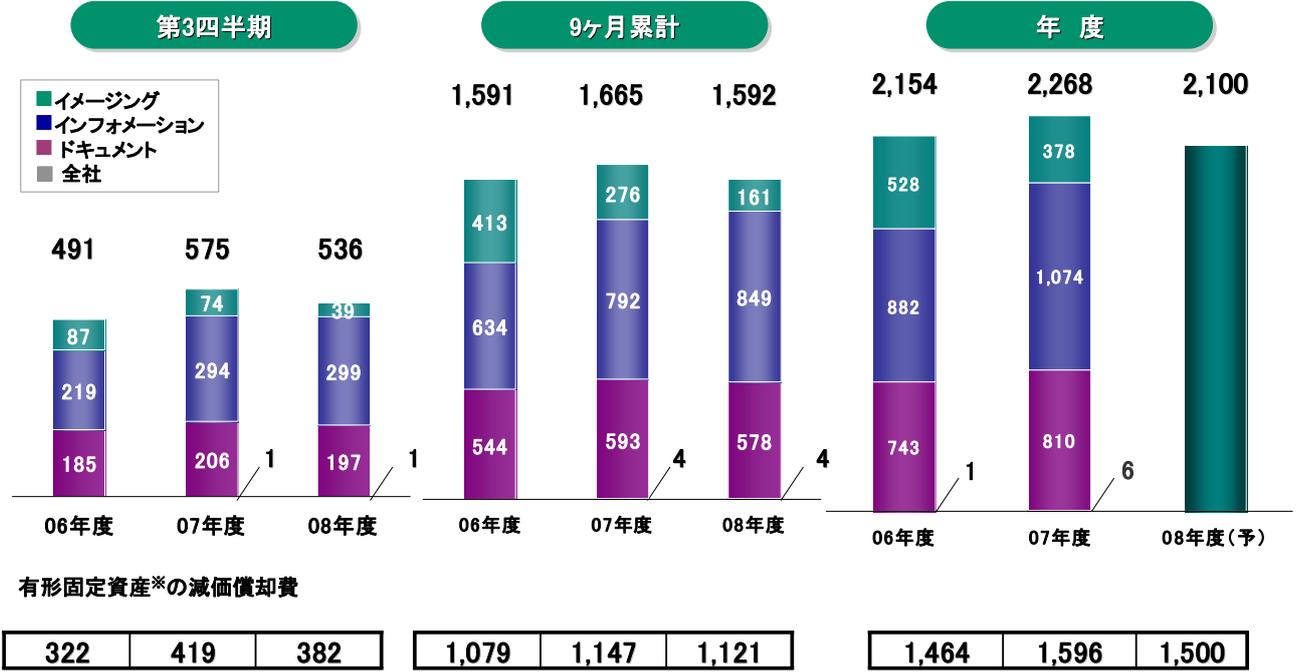
(単位:億円)



※ドキュメントソリューション部門のレンタル機器を除く。

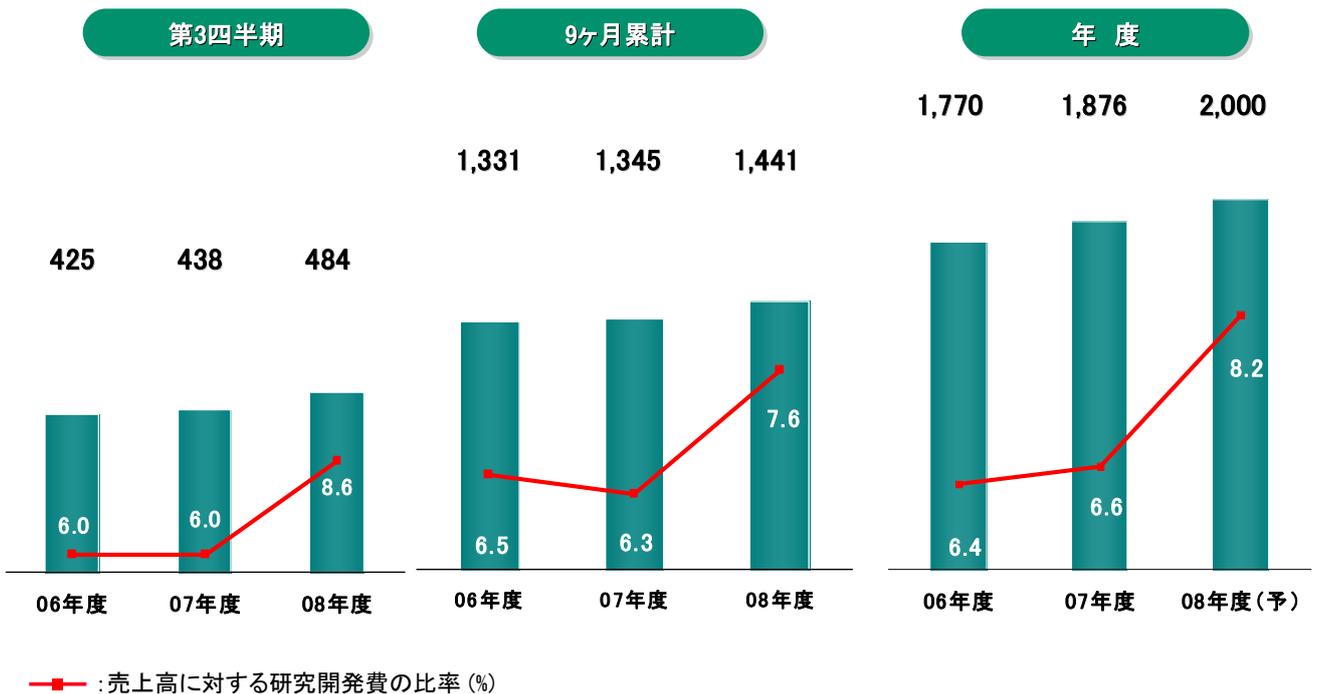
■ 減価償却費

(単位:億円)



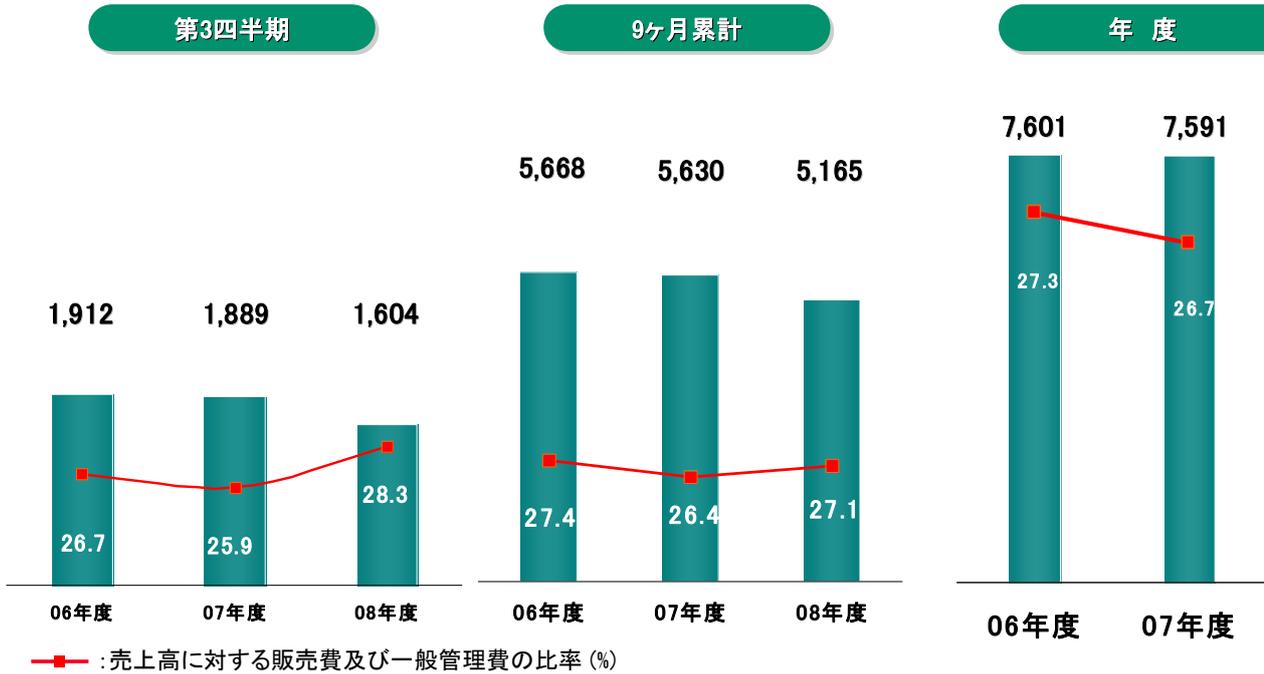
■ 研究開発費

(単位:億円)



■ 販売費及び一般管理費

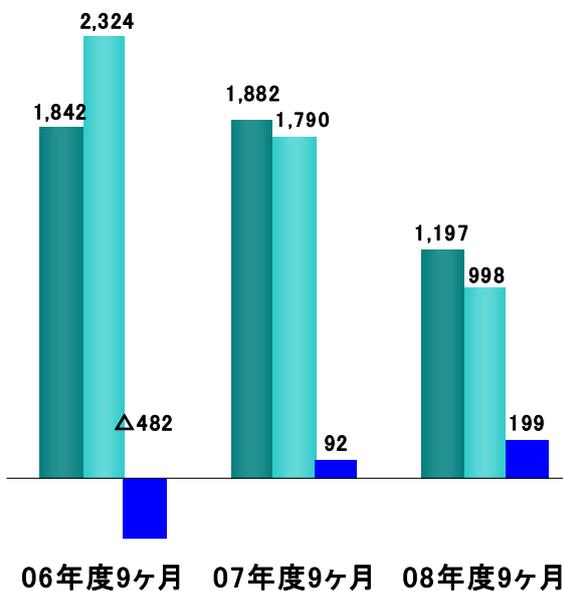
(単位:億円)



■ フリーキャッシュフロー

(単位:億円)

■ 営業活動CF
■ 投資活動CF
■ フリーキャッシュフロー

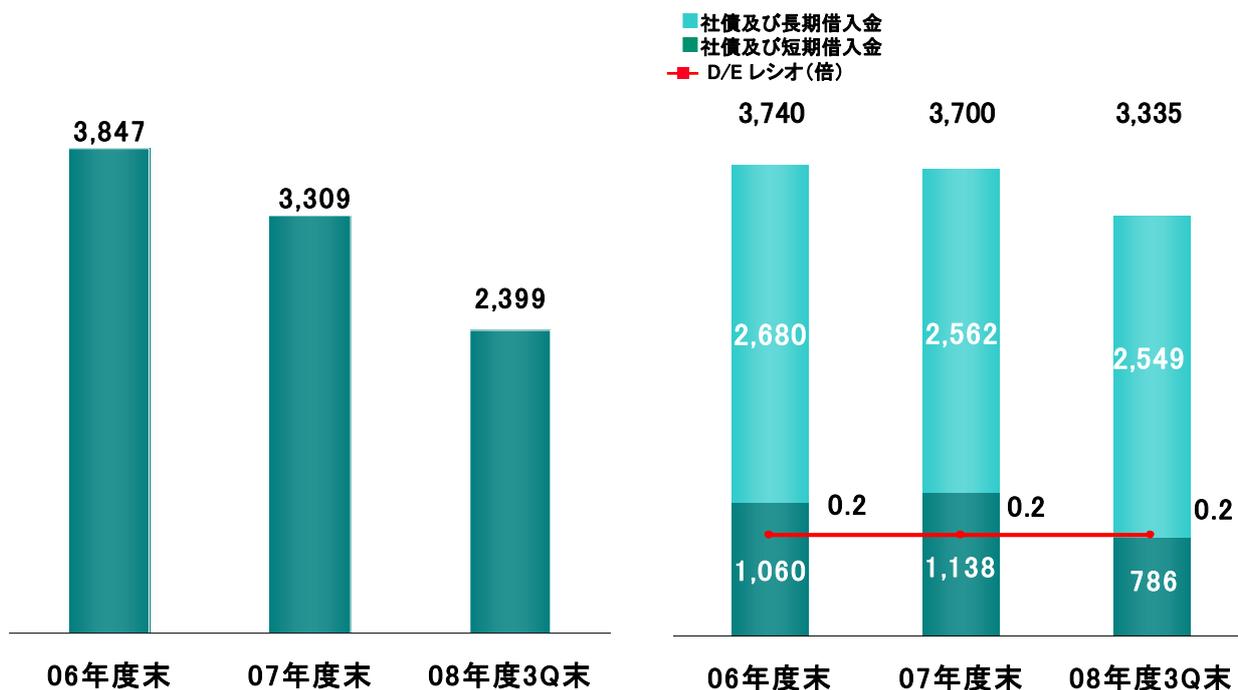


キャッシュフロー		
	07年度9ヶ月	08年度9ヶ月
四半期純利益	1,039	294
減価償却費	1,665	1,592
運転資本増減額	-486	-68
未払法人税等他負債の増減	-430	-776
その他	94	155
営業活動によるCF	1,882	1,197
設備投資	-1,149	-1,118
事業買収	-	-41
有価証券・投資有価証券等の売却・購入	1	312
その他	-642	-151
投資活動によるCF	-1,790	-998
フリーキャッシュフロー	92	199

■ 現金及び現金同等物

■ 有利子負債

(単位:億円)

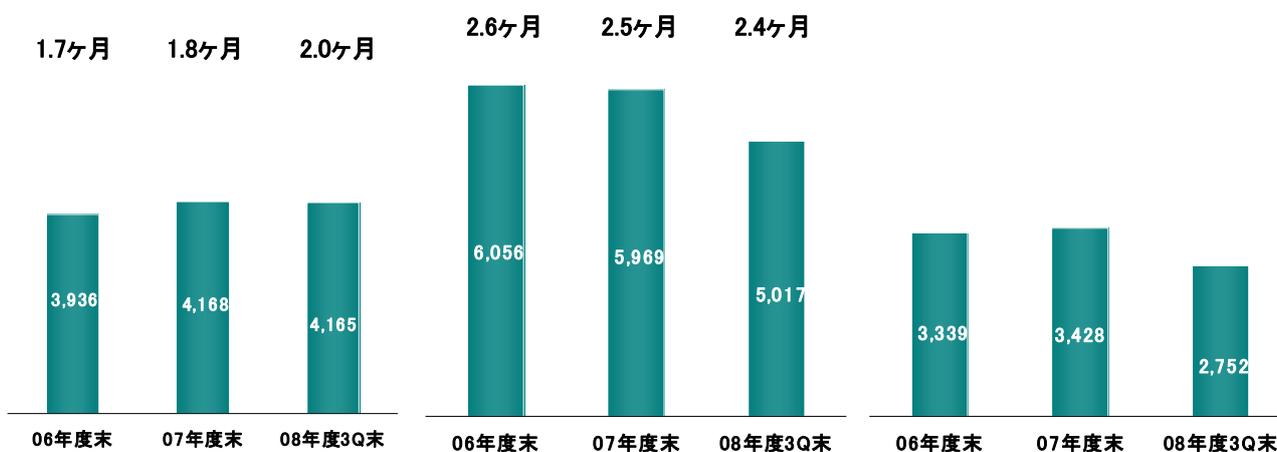


■ 棚卸資産

■ 受取債権

■ 支払債務

(単位:億円)
(保有月数)



■ 富山化学工業(株)新薬開発スケジュール

開発番号	薬効	地域	開発段階					剤形
			非臨床試験	P I	P II	P III	申請	
T-614	抗リウマチ剤	日本	[進捗バー]					経口
T-3262 細粒	ニューキノロン系合成抗菌剤	日本	[進捗バー]					経口*
T-3811	ニュータイプのキノロン系合成抗菌剤	日本	[進捗バー]					注射**
		米国	[進捗バー]					経口/注射
		欧州	[進捗バー]					
T-3762	ニューキノロン系合成抗菌剤	日本	[進捗バー]					注射***
T-817MA	アルツハイマー型認知症治療剤	米国	[進捗バー]					経口
T-5224 (R7277)	抗リウマチ剤	日本	[進捗バー]					経口
		海外	[進捗バー]					
T-705	抗ウイルス剤	日本	[進捗バー]					経口
		米国	[進捗バー]					
T-1106	抗ウイルス剤	日本	[進捗バー]					経口
T-2307	抗真菌剤	日本	[進捗バー]					注射

* 錠剤は「オゼックス錠」として発売

** 経口剤は「ジェニナック錠」として発売

*** 発売中の「パシル点滴静注液」の用量追加

※前回(2008年10月30日)公表時からの変更点: なし。なお、T-705の一般名(INN)はファビピラビルに決定

■ 為替、人員

(単位:円)

● 為替

	2008年度						2007年度					
	9ヶ月					予想	9ヶ月					4Q
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q		2Q	3Q	4Q			
米ドル	104	108	97	103	90	100	121	118	113	117	106	115
ユーロ	163	162	128	151	115	142	162	162	164	163	159	162

* 為替感応度(年間/対営業利益) US\$ 12億円 ユーロ 7億円

● 人員

	2008.12末	2008.9末	2008.6末	2008.3末	2007.12末
連結	78,203	78,228	78,765	78,321	79,279

FUJIFILM

わたしたちは、先進・独自の技術をもって、
最高品質の商品やサービスを提供する事により、
社会の文化・科学・技術・産業の発展、
健康増進、環境保持に貢献し、
人々のクオリティ オブ ライフのさらなる向上に寄与します。

富士フイルム ホールディングス株式会社

経営企画部 IR室

<http://www.fujifilmholdings.com>